

## 株式会社フルタイムシステムに対する 「サステナビリティローン」の実行について

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）は、本日、株式会社フルタイムシステム（代表取締役：原 幸一郎、以下「フルタイムシステム」）に対し、サステナビリティローン（以下「本ローン」）を実行しました。

サステナビリティローンとは、環境問題の解決・緩和に資する事業の資金および社会的課題の解決に資する事業の資金の双方を調達するために実行されるローンです。

フルタイムシステムは、「グリーンローン原則」（※1）及び「ソーシャルローン原則」（※2）に基づき、2026年3月に「サステナビリティローン・フレームワーク」（以下「本フレーム」）を策定し、第三者機関である株式会社格付投資情報センター（R&I）からセカンド・パーティー・オピニオン（※3）を取得しています。同時に、適格プロジェクトである住宅用宅配ロッカー、宅配ボックスについて、宅配の再配達削減が脱炭素に貢献するものとして、「Green Enabling Project」（※4）に適合する旨の評価を取得しています。本ローンは、同オピニオンを踏まえたサステナビリティローン調達です。

1986年創業のフルタイムシステムは、世界で初めてコンピューター制御式のマンション用宅配ロッカー、宅配ボックスを開発した企業で、宅配や物流の人員、流通の問題がクローズアップされる中、宅配物の再配達ゼロ実現に向け、宅配ボックスの利用や回転率を高める施策、円滑な商品受取システムの構築など、さらなるインフラ開発と物流イノベーションを推進しています。

本件は、フルタイムシステムが、主力製品である住宅用宅配ロッカーおよび、宅配ボックスの製造・販売を通して、再配達等に伴うCO2排出量の削減（グリーンプロジェクト）、ドライバー不足の解消、核家族化による不在ニーズへの対応（ソーシャルプロジェクト）などを目指すための資金調達です。

みずほ銀行は、フルタイムシステムの環境負荷低減および社会的課題解決に向けた取り組みをファイナンス面から支援すべく、フルタイムシステムが本フレームワークに基づき実施する適格プロジェクトを対象として、本ローンを組成しました。

〈みずほ〉は、持続可能な社会の実現に向けた取り組み（サステナビリティアクション）を強化しています。環境・社会課題解決に向けた資金の流れを創出するサステナブルファイナンスや金融を超える知見・機能を活用したソリューション提供を通じ、SX（サステナビリティ・トランスフォーメーション）に向けて、お客さまとともに挑戦していきます。

#### 〈案件の概要〉

融 資 先：株式会社フルタイムシステム

貸 付 人：株式会社みずほ銀行

契約締結日：2026年3月30日

実行日：2026年3月31日

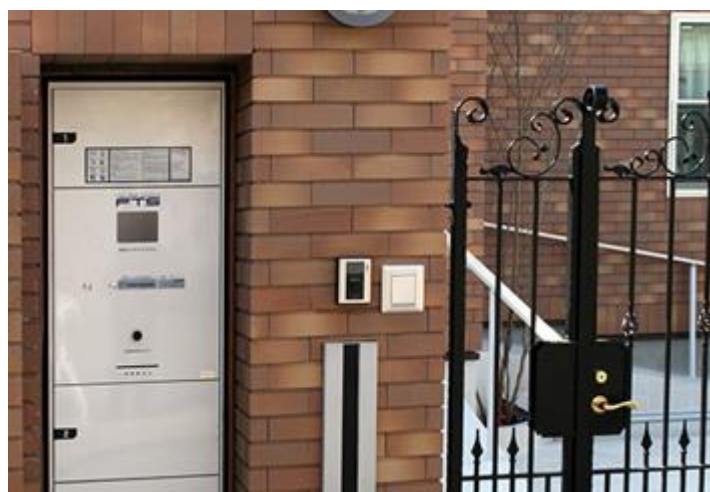
期 間：5年

資金用途：住宅用宅配ロッカー、宅配ボックスの製造に伴う仕入及び設置費用

#### 【集合住宅における宅配ロッカー設置例】



#### 【戸建住宅における宅配ボックス設置例】



(※1) : グリーンローン原則

Loan Market Association とアジア太平洋地域業界団体Asia Pacific Loan Market Association が2018 年3 月に策定した環境分野に用途を限定する融資の国際ガイドライン。2018 年12 月にはThe Loan Syndications and Trading Association も参画。

(※2) : ソーシャルローン原則

英Loan Market Association (LMA) 、香港に本部を置くアジア太平洋地域業界団体Asia Pacific Loan Market Association (APLMA) 、米Loan Syndications and Trading Association (LSTA) が、2021 年4 月発行した社会プロジェクトに用途を限定する融資の国際ガイドライン。

(※3) : 株式会社格付投資情報センター (R&I) による評価レポートをご参照下さい。

<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/sustainabilityfinance/index.html>

(※4) : Green Enabling Project: ICMA(国際資本市場協会／International Capital Market Association)

が2024年6月にガイダンスを公表した、それ自体では明確にグリーンとは位置付けられないものの、グリーンプロジェクトのバリューチェーンで重要な役割を果たすプロジェクトを指す。

以 上